

Hyper Ing 2011

(“Hyper Ing”は上高生を応援する先輩メッセージ“Ing”のパワーアップ号です)

上野高等学校進路指導部 vol.7 2011/10/28

上高の「花道の先輩」ドキュメント その4

上野高校を巣立った先輩たちがどのように学生生活を送っているのか、進路主任の冨澤が大学を直接訪問してお話を伺いました。第4回は2011年7月4日、大阪府柏原市にある大阪教育大学を訪れました。

第4回：「文武両道」の強さと脆さを知る



大阪教育大学の階段で 向かって右から大阪教育大学教育学部
1年 大西真菜さん(小学校数学コース) 森永侑樹さん(小学校国
語コース) 西井由梨香さん(小学校家政コース)

◇グラウンドは奈良県 山の上の教育大学

——大学正門から教室棟のあるキャンパスまで延々と階段
ですね。とても歩けないのでエスカレーター(上りのみ)を
3基乗り継ぎました。学生はどうしているのですか？

大西 学生も上りはエスカレーターです。中には朝から階段を登って
くる人もいます。

西井 山なので校内にインシシが出るんですよ(笑)。

——「階段が何段あるか何回数えても一致しない」ってよ
く言われますね。森永さん(硬式野球部出身)は階段派？

森永 僕もエスカレーター派です(笑)。

——近鉄の駅(大阪教育大前)から大学正門まで一本道で、
たくさんの学生とすれ違いましたが、お洒落な人もいれば、
ジャージの人もいるし、様々ですね。

西井 今日4限目にスポーツ実技があったからジャージのまま帰る
のだと思います。サークル帰りの学生もそんな感じです。

——付近に店らしきものが全く存在しません。大学内のア

メニティーは充実しているのですか？

西井 食堂が3つあって、第1、第2食堂はバイキング方式のカフェテリア、第3食堂はカフェです。ランチもやってます。

大西 大学の図書館にDVDがたくさんあって、観ることができますよ。書籍は生協にあります。あとは駅でアイスを買ったりする程度ですね。

——難波から電車で約30分。学生さんは近隣の通学者が大半ですか？

西井 家政コースの生徒は兵庫、大阪以外にも熊本、北海道、愛媛など様々です。国分や八尾に下宿しています。三重県方面に帰る学生は少なく、駅では対面の大阪方面ホームは人がいっぱい、こっち側はじろじろ観察されているような気分です(笑)。

——お借りしている教室は高校みたいな机が並んでいます。エアコンも完備、液晶モニターやプロジェクターなどプレゼン用の機器も小教室ながら充実しています。扇形の大講義室もありますか？

西井 扇形の講義室は3カ所あります。後はこういう机の教室か、長机の教室などですね。

——時間割を見せてもらおうと、憲法や同和問題といった教職必須科目以外にも、教職のための専門科目が並びますね。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1 9:00 ▼ 10:30		図画工作Ⅰ A-105	被服学Ⅰ C3-201	住居学Ⅰ C2-307	教職入門Ⅰ C2-307
2 10:45 ▼ 12:15	スポーツ実技 テニス テニスコート	教育総論 A-212	育児学Ⅰ C3-201	住居学実習Ⅰ C2-307	国語Ⅰ A-216
3 13:05 ▼ 14:35		部落問題 概論Ⅰ A-314		消費者教育論 A-104	食農教育の 実践 畑
4 14:50 ▼ 16:20	英語Ⅰ B3-301A			生活実験実 習法 C2-303	
5 16:35 ▼ 18:05					情報機器の 操作 情報センター

大西 私は数学コースなので、数学の授業が4コマ、それに小学校必須の科目が国語や図工です。図工は自分たちで何か作るだけでなく、のこぎりを使う時どうい危険があるか、など指導の仕方なども学んでいます。

森永 国語では『ごんぎつね』の解釈をしたりします。懐かしいです。

——大阪教育大学には小学校コースと中学校コースがありますが、授業は同じですか？

大西 1回生の時はほとんど同じです。2回生以降になると、小学校コースはいろいろな教科、中学校コースは専門のことをもう少し突っ込んで学習します。いくつか必要な単位を取れば小学校から高校までの免許を取ることができます。専門以外の副免許は2回生以降ですね。今は専門の教科をしっかりとやっています。

西井 私も1回生で一通り専門教科を学びます。ゼミは3回生以降です。家政はゼミで被服、食物などに分かれます。

——英語の時間が1コマしかないですね。第二外国語とか小学校英語必修科に向けた授業とかは？

大西 外国語は英・独・仏・中・韓からひとつでOKです。英語の先生は外国で英語を教えていたすごい人らしいですが、休講が多いです(笑)。2回生からコミュニケーションの授業があります。

——西井さんの時間割(写真)にある「教職入門」と「食農

教育」って何ですか？

西井 教職入門の時間に「観察実習」といって、近所の小学校で算数の時間に机間巡視をしたり、テストの採点をしたり、休み時間に一緒に遊んだりします。児童から色々手紙や折り紙をもらいました(写真)。金の折り紙って小学生からしたらかなり大事なものですよね(一同同意)。食農教育はキャンパス内の畑でキュウリやトマトを作ります。取ってきましょうか?(笑)

——時間割に書いてある「畑」というのは担当の先生の名前ではなく集合場所のことですか(笑)。他に「いかにも教育学部」という授業はありますか？

大西 一時間ひたすら鬼ごっこという時間がありました。

森永 プールですね。小学校以来なので憂鬱です。着衣水泳が1回。泳ぐのが2回です。

——小学校の教員採用試験では25m泳がなければなりませんからね。

西井 20mは泳げます。あと5mは犬かきで何とか(笑)。

◇現役時代は部活に明け暮れた日々

——大阪教育大学を志望したのはなぜですか？

大西 中学生の時から教師を目指していました。大阪教育大学は教員採用率が高いという話を聞き、いいなと思いました。

西井 わたしは大西さんに連れられてオープンキャンパスに来て、きれいな学校だと思いました(この日は雑草が伸び放題でしたが)。学科の先輩に話を聞く機会があり、すごく楽しそうだったので、決めました。

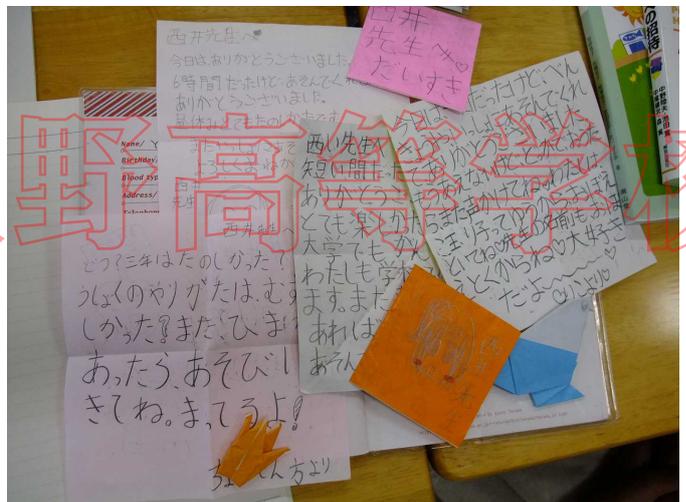
森永 僕も教師になりたいとずっと思っていて、模擬試験で色々和教育大学を書いていた。最初は三重大大学と書いていたのですが、もっと上を目指そうと考えるようになりました。でも保護者から「通える範囲の大学にしてほしい」と言われて。最終的に決定したのは3年の11月です。

——教員を目指すなら地元にも三重大大学がありますが？

大西 うーん、名前に「大阪」ってつくとかっこいいじゃないですか(笑)。都会っぽくて。ここは都会じゃないですけど(笑)。

森永 この大学はバイトで塾講師をしたり、ボランティアをする生徒が多いです。

大西 みんな明るくて、警備員の人にしっかり挨拶します。学科内も仲良しで、子供とふれあいたい、という人ばかりですね。





西井 私も誘われて、子供たちにヨットやカヌーを指導するボランティアに参加しています。

——「教師になりたい!」と思っている元気な人たちが集まっているところは魅力ですね(写真)。コースの定員も多いです(例: 数学コース48人 三重大学16人)。森永さんは硬式野球部、大西さんと西井さんはテニス部と、3人とも部活動で頑張り、学校の成績も優秀でした。1, 2年生のうちは勉強にどう取り組んでいましたか?

森永 僕はテスト前にもものすごくやっていました。逆に予習復習は最低限でした。平日の勉強時間は30分ぐらいだったと思います。

西井 私も同じです。復習はあまりしていません。

大西 予習も授業中に当たりそうになって慌てて調べたりとか(笑)。悪い先輩ですみません。2年生の1月に先輩たちがセンター試験を受験しているのを見て危機感を覚えて、単語や文法をやり直しはじめました。それでも模試の成績はひどくて、国語が偏差値39で、もうどうしようかと。

西井 私が受験勉強を始めたのは3年生の夏からです。でも合唱とかに気が行ってしまいがちで。だから夏の補習を出来るだけとりました。自分で出来ないことは補習を活用しようと。

——部活を引退して「さあ切り替えよう!」という時に体育祭や文化祭がありますからね。

森永 僕も模擬試験の成績は散々でした。部活を引退して、8月くらいから勉強を始めました。日本史が全然わからなかったのでやり直して、英語も長文が全く解けないので長文をやりながら英単語も覚えるようにしました。でも僕は塾に行っていないからか最初はうまくペースがつかめませんでした。だらだらと過ごしているうちに9月になって、学校に行くときみんなが受験の話一色になっていて、「これはまずい」と思ってそこから毎日6時間、休日はその倍は勉強しました。

——その集中力は見事だと思います。しかしテスト期間に勉強して、テストが終わるとなにもしない。それでは見かけの成績はよくても定着しません。部活をしているうちから英単語などコツコツやっておきたいものです。ただ、定期テストでしっかり勉強してあれば、受験勉強の時に意外と頭に残っていたりします。

大西 それは思いました。特に暗記科目は模試などで「あ、これやったことがある」とか。

——勉強の開始が遅れると、2学期になると友達は成績が上がるのに自分の成績は上がらない。我慢の時期だったのでは?

大西 長文が120点しか得点できない時期が続きました。それでやり方を変えました。今までは漫然と長文問題をしていましたが、例えば「地球温暖化」がテーマなら必ず出てくる単語(例えば drought glacier)ばかりをまとめたキーワード単語集を作りました。これで長文の内容が単語からある程度判断できるようになり、160点をキープできるようになりました。

西井 勉強をしているのに点数がスコーンと下がることがあります。私は11月に下がりました。

大西 私も偏差値ではなく点数が下がりました。今までだららざと読んで内容を把握して解答にたどり着けたのに、ちょっと単語がわかってくると深々と文章を読んでしまい逆にわからなくなることがありました。

——中途半端に勉強が進むと細かいところこだわって泥沼に嵌ったり、間違い選択肢に「これも正しいのでは?」と惑わされがちです。勉強が進めば克服できるのですが、しんどい時期をどうやって乗り切りましたか?

大西 私は塾に通っていたのですが、一日のうち2時間くらいは友達と悩みを打ち明けあったり、面白い話に興じたりして勉強から離れる時間を持ちました。そうするとそれ以外の時間は勉強に集中できました。

森永 僕は勉強に行き詰まるとカラオケに行きました。すると罪悪感が生まれてきます(笑)。「やばい、俺何してんねん」みたいな。僕は危機感を覚えると集中できるので、そうやって自分を追い込みました。

西井 私は一緒に住んでいる姉の子供の世話をしたり、学校の帰りに友達と喋り、すっきりしたところで机に向かいました。

◇落とし穴は得意なところにある

——大阪教育大学はセンター試験の大量得点が必須です。皆さんは苦しい時期を乗り越え700点近い得点を確保しました。まず森永さんは推薦で合格しましたが(一同「え〜」の声)、試験はどんな感じでしたか?

森永 大阪教育大学の推薦入試はセンターの得点と面接ですが、センター試験の前(11月)に面接があります。僕は私立を受けず大阪教育大学一本だったので、一度でもチャンスが多ければと思い、志望している国語コースに推薦があったので受験しました。でも面接は全く駄目で、それでセンター高得点を目指してその後猛勉強しました。

——国語コースの面接試験はどのようなものですか？

森永 過去問はいわゆる「口頭試問」でした。和歌を渡されて、その表現技法について説明したり、現代文のストーリーを考えたりします。国語の田中先生に何度も練習していただきました。本番は、「この俳句にあなたなりの下の句を入れて完成させ、完成した俳句の情景を思い浮かべて話さない」、という課題でした。その後本来の下の句を示されて、この情景と先ほどの情景との違いについて説明を求められました。

——俳句の本質を問う難しい課題ですね！ しかし小中学校で俳句が必須の伊賀市民にはうってつけの課題かも。

森永 でも上の句に季語がないのに、季語のない下の句を答えてしまいました(一同また「え〜」)。もうこれは駄目だと。

——西井さんの個別試験は小論文でしたが、どのような対策をしましたか？

西井 担任の富澤先生に新聞のスクラップをするようにと。家庭欄の記事をスクラップしてコメントをつけました。記事に関わる出題はありませんでしたが、家庭生活について色々なことが問題になっていることを知ることができ、本番は自信を持って望むことができました。

——部活も同じですね。練習と同じ球が本番で飛んでくるとは限りません。でも練習を重ねておくとどんな球にも瞬時に対応できるものです。大西さんはこの中で唯一個別試験が学科試験でしたが、どのような準備をしましたか？

大西 個別試験は数学が400点、理科が200点です。生物ばかりやってしまい、得意な数学は2週間前からやり始めました。過去問の多くは不等式などの証明問題で、同じ傾向の問題を重点的にやりました(写真)。ところが本番では全く違う傾向の問題が出題され、全然解けません。不合格だと思っていたので、合格発表で番号を見つけたときには泣いてしまいました。そのときの写真(下)、目が腫れています(笑)。2週間でノート2冊分の問題を解いて、数学の木下先生に何度も見てもらっていたのに。関西学院大学のセンター試験と数学の併用方式に合格して、「この調子なら行ける」とちょっと気が抜けてしまったのかもしれない。



——苦手科目の対策をしている時でも、得意科目の勘が鈍らないような日々のルーティーンは必要です。さて最後に、部活を最後まで続けた3人から現役生に「切り替え」の効果的な方法をアドバイスしてください。

大西 友達ですね。同じ塾に通っていた友達(佐古静香さん)を見習いました。「静香がやるなら私もやる」と。

森永 部活をやめてすぐに勉強には向かえないものです。やはり危機感ですね。友達がやってるから自分もやらないと。

西井 私も「塾に行ってる人には負けれない！」と自分に言い聞かせました。

——いい意味でのライバル心ですね。他に現役生に対してアドバイスはありますか？

大西 自分が行きたい大学があったら妥協しないことです。行きたい大学に合格できたらいいことができます。今、本当に毎日充実しています。それから誰かと一緒にいた方がはかどります、助け合うことが大事です。

西井 後悔をしないように思いっきり勉強をする。自分の興味のあることを目指す。



森永 いろんな人の話を聞くと、自分が思っていることと別のことがわかります。それから定期テストでも、センター試験でも100点を目指してください。最初から90点を目指してはいけません。妥協したらどんどん妥協してしまいます。

——マウンドに上がればまずパーフェクト、次にノーヒットノーランを目指す、ですね。ありがとうございました。

合格発表で アメフト部の皆さんと

大阪教育大学おまけフォト1



駅から。通路が延々と。大学は右手奥の山の中です。



エスカレーター。秘密基地みたいです。



無視するのがいいみたいです。



現代的なキャンパス。休講の連絡も液晶モニターとメールで配信されます。



図書館2階「まなびの広場」でレポート作成中。



普通教室も機器が充実。真ん中が大西さん。

大阪教育大学おまけフォト2



西井さん（2列目向かって右から2人目）が加入するボランティアサークルと、ボートの説明。



皐月祭の様子。二列目真ん中が大西さん。



帰り道に激励の看板あり。奥の建物が駅。

三豊県立七野高等学校